

試験研究成果普及情報

部門	病害虫	対象	普及
課題名： 青枯病抵抗性トマト及び台木品種の抵抗性比較			
[要約] トマトの青枯病抵抗性台木は、抵抗性トマトと比較して、青枯病に対して「非常に強い品種」、「強い品種」、「やや強い品種」に大別できる。			
フリーワード トマト、病害虫防除、青枯病、台木、抵抗性			
実施機関名	主 査 農業総合研究センター生産環境部病理研究室 協力機関 山武農林振興センター、長生農林振興センター		
実施期間	2005年度～2006年度		

[目的及び背景]

トマト青枯病は*Ralstonia solanacearum*によって起こされる土壌伝染性の細菌病であり、高温期に発生しやすいため、特に抑制栽培で被害が大きい。

青枯病の防除対策には抵抗性トマトや台木の利用が有効である。青枯病に対する抵抗性は品種ごとに異なり、種苗会社によっては抵抗性の強弱が示されている。しかし、各社の評価法は異なるため、抵抗性を単純に比較することは難しい。そこで、品種選定の資料とするため、農林振興センターから要望のあった青枯病抵抗性トマト及び抵抗性台木を中心に、その抵抗性を比較する。

[成果内容]

- 1 トマト及び青枯病抵抗性台木、25品種について、幼苗浸根接種法により青枯病に対する抵抗性を比較した結果(表1)、発病株率は青枯病に罹病性のトマトでは92～100%であり、抵抗性トマトでは52～71%であった。また、抵抗性台木の発病株率は0～42%であった。
- 2 抵抗性台木の抵抗性は抵抗性トマトと比較して大別でき(表1)、非常に強い品種は「ボランチ」、「LS89」、「良縁」、「Bバリア」で発病株率は0～4%であった。強い品種は「スーパー良縁」、「根くらべ」、「サポート」、「ガードナー」、「がんばる根」、「がんばる根-ベクト」、「助人」、「影武者」で発病株率は8～19%であった。やや強い品種は「ブロック」、「がんばる根-3号」、「マグネット」、「ジョイント」で発病株率は31～42%であった。

[留意事項]

[普及対象地域]

県下トマト栽培地域

[行政上の措置]

[普及状況]

[成果の概要]

表1 幼苗浸根接種法による青枯病に対するトマト及び抵抗性台木の抵抗性比較

品種	区分	種苗会社	抵抗性表示	発病株率 (%)	青枯病抵抗性
桃太郎ファイト	トマト	タキイ種苗	有	52	○
T-193	トマト	タキイ種苗	有	60	○
桃太郎エイト	トマト	タキイ種苗	有	71	○
優美	トマト	丸種		92	
ハウス桃太郎	トマト	タキイ種苗		94	
桃太郎コルト	トマト	タキイ種苗		100	
桃太郎ヨーク	トマト	タキイ種苗		100	
大型福寿	トマト	タキイ種苗		100	
スーパー優美	トマト	丸種		100	
ボランチ	台木	タキイ種苗	有	0	◎◎◎
LS89	台木	タキイ種苗	有	2	◎◎◎
良縁	台木	カネコ種苗	有	4	◎◎◎
Bバリア	台木	タキイ種苗	有	4	◎◎◎
スーパー良縁	台木	カネコ種苗	有	8	◎◎
根くらべ	台木	カネコ種苗	有	8	◎◎
サポート	台木	サカタのタネ	有	10	◎◎
ガードナー	台木	タキイ種苗	有	10	◎◎
がんばる根	台木	愛三種苗	有	13	◎◎
がんばる根-ベクト	台木	愛三種苗	有	13	◎◎
助人	台木	カネコ	有	13	◎◎
影武者	台木	タキイ種苗	有	19	◎◎
ブロック	台木	サカタのタネ	有	31	◎
がんばる根-3号	台木	愛三種苗	有	33	◎
マグネット	台木	サカタのタネ	有	33	◎
ジョイント	台木	サカタのタネ	有	42	◎

注1) 浸根接種試験法

供試菌：菌株A；051017九十九里、菌株B；9996-2

接種苗令：本葉2~3枚展開期

試験場所：ガラスハウス

供試株数 各品種12株/菌株

浸根接種：

1 回目、接種日2005年12月15日、判定日2006年1月6日（加温床、平均地温29.9℃）

2 回目、接種日2006年5月15日、判定日6月8日（加温床、平均地温23.9℃）

浸根接種菌懸濁液濃度 $10^5 \sim 10^6$ cfu/ml

2) 発病株率 各品種の2菌株2回試験における萎凋・枯死または導管褐変株数の割合の平均

3) 青枯病に対する抵抗性の区分

○；抵抗性有り、 ◎；○に比べてやや強い、 ◎◎；○に比べて強い、

◎◎◎；○に比べて非常に強い

[発表及び関連文献]

なし

[その他]

平成17年度試験研究要望課題（提起機関：長生農林振興センター）